



5月29日、真野北部土地改良区の方たちと懇談。「農林予算を増やして、琵琶湖と農業用水を守って」と切実な訴えが。サイエンスパークや法定外里道水路、不法投棄の問題など、話題は尽きず…。

みなさんから寄せられた期待に応え、 公約実現へ、提案・論戦を尽くします

6月通常会議

6月1日から、大津市議会6月通常会議が始まりました(23日まで)。

党市議団は、選挙で掲げた公約実現に向け、全員が質問に立ちます。ぜひ傍聴にお越しください。

提案された議案のうち、補正予算では、
・市民病院やケアセンター
・大津、卸売市場の経営形態のあり方についての検討費用
・北部クリーンセンターの用地所得
・中学校給食導入に向けた校舎改造の検討費用
などがあげられています。

国が社会保障削減を進めているときだからこそ、市

質問予定		質問項目	
8日(月)	午後	岸本のり子	地方再生、公共施設の再編、市立図書館の指定管理について
9日(火)	午前	石黒かつ子	介護保険制度改正に伴う市の対応、子どもの医療費無料化について 他
	午前	林まり	原発問題・再生エネルギー、市立小・中学校規模等適正化ビジョンの策定について
10日(水)	午前	たてみち秀彦	公共交通、市営住宅の課題、中小企業対策について
	午後	杉浦とも子	集团的自衛権関連法案について、保育問題、公設市場卸売事業について 他

※議事の進行により変更となることがあります。
傍聴は自由です。各日とも10時から始まります。ぜひ応援に来てください!

第2回大津市廃棄物減量等推進審議会

大津市廃棄物減量等推進審議会が、6月2日に開かれ、家庭ごみの有料化などが審議されました。

答申が出された時とは状況も変わり、ごみ減



"ごみ有料化「答申」は いったん白紙に"

家庭ごみ有料化については、市は2011年に有料化の答申を受けていますが、市民意見公募(パブリックコメント)で、ごみ減量にまともに取り組んでいないのに有料化は拙速だという意見が多く寄せられ、計画はストップしていました。

2日の審議会では、議論の結果、前回の答申が出された時とは状況も変わり、ごみ減量化の目標が着実に達成されていることから、「ごみ有料化答申はいったん白紙に戻し、有料化によらないごみ減量化を検討」することになりました。今年度末にむけて、「一般廃棄物処理基本計画」の中間見直し計画が答申される予定です。

党市議団は、ごみ有料化を完全にストップさせるため、引き続き市民のみなさんと共同して取り組んでいきます。

公営でこそ果たせる役割がある

市立図書館の民間委託問題

大津市立図書館の民間委託が懸念される中、第4回目の図書館を考える集いが開かれました。



小郡市の図書館長・永利和則さん

行政改革で指定管理導入後に、見直しをして、直営に戻した福岡県小郡市の図書館長が講演されました。

ホームページの活用で全市体のサービス向上につなげている事例や、学校との連携など公的機関だからできること、指定管理時にできなかったことなどの取り組みが紹介されました。また、図書館の民間委託だけではなく、「教育・福祉など様々な法律が改定され、公立図書館の役割が重要視される一方、国は施設の統廃合や人員削減を押しつけて、様々な市民サービスが放棄させられている背景にも目を向けてほしい」との指摘も。

党市議団は民間委託に反対し、市立図書館のあり方を市民のみなさんと共に考え、図書館の充実を求めていきます。

新制度で大きく 変わる学童保育

「子ども・子育て支援新制度」の学習会(県学童保育連絡協議会主催)に参加しました。

自治体職員の方も含め130名あまりの参加で、全国学童保育連絡協議会の真田祐さんを講師に、活発な議論が交わされました。

大津市の児童クラブでは、児童数の増加や指導員不足に加え、支援が必要な子どもや保護者に対する支援も増えています。

新制度は「省令基準」と「放課後児童クラブ運営指針」に基づき、全国的な一定水準確保に向けて取り組みというもので、その内容は保護者や指導員の運動が反映したものになっています。これを根拠に、大津の大切にしてきた学童保育の中身がより充実するよう求めています。

(石黒かつ子)

行政・保護者・指導員が
力を合わせてよりよい学童保育を

